

# インバウンド発祥の地・函館で新たな観光創造！

## 地域インバウンド対応のための観光ビジネス人材育成講座

本講座は、文部科学省「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の一環として行われる社会人向け講座（学生も参加可）です。インバウンドの発祥の地の一つと言える函館において、データ分析をもとに課題を見つけ出し、近い将来に新幹線でつながるニセコ等の他地域のインバウンド（とくにFIT）客をターゲットとしたビジネス創出の可能性を探ります

※講座を修了した方には、「修了証」を発行します。

### 【主な対象者】

- 1 主に函館・道南地域の観光関連事業に携わる経営層、中堅社員、グループリーダー等
- 2 学生や道外からの参加者

日時：2017/12/14（木）～12/15（金）

会場：函館コミュニティプラザ G スクエア イベントスペース B

函館市本町 24 番 1 号シエスタハコダテ 4 階 <http://g-sq.jp/>

1 日目・2017 年 12 月 14 日（木）

司会 池ノ上 真一（北海道教育大学函館校准教授）

10：15 受付開始

10：30～10：40 開会挨拶、講座趣旨説明・地域インバウンドのミッション

宍戸 学（横浜商科大学商学部観光マネジメント学科教授）

10：40～11：10 我が国のインバウンド観光と函館

講師：村上 浩之氏（国土交通省北海道運輸局函館運輸支局首席運輸企画専門官）

11：10～11：40 函館の観光データの読み取り方～観光動態編（案）

講師：未定（函館市観光部）

<11：40～12：30 昼食休憩>

12：30～14：00 基調講演

「地域インバウンドの具体的な打ち手～求められるのは『地域を編む力』～」

講師：西谷 雷佐（にしや らいすけ）氏

地元青森県弘前市で旅行会社「たびすけ」経営を通じインバウンド推進に取り組むほか、2016年に民間連携によるDMO「東北インアウトバウンド連合」を発足し理事長に就任。国立大学で講義も行うほか、まちあるきガイド団体「弘前路地 裏探偵団」や青森県サイクル・ツーリズム推進協議会の中心的存在として活動。

14：00～14：30 函館の観光データの読み取り方～地域経済編（案）

講師：永澤 大樹氏（函館商工会議所中小企業相談所長）

14：40～16：20 地域観光構造図を描くワークショップ

テーマ「函館のインバウンド事情と課題～他地域のインバウンド FIT を活用する」

講師：飯野 智子氏（ホテルショコラ函館総支配人、有限会社 Faith Up 代表取締役）、西谷 雷佐氏

16：20～16：50 各グループによる発表会

16：50～17：00 講評

**2日目・2017年12月15日(金)**

**司会** 池ノ上 真一 (北海道教育大学函館校准教授)

**10:30~11:00 地域に根ざした観光ビジネスの大切さ**

講師：永澤 大樹氏 (函館商工会議所中小企業相談所長)

**11:00~14:00 (途中昼食休憩) 函館の観光ビジネスを創造するワークショップ**

テーマ「函館の新たな観光ビジネスを創造する～他地域のインバウンド FIT を活用する」

講師：飯野 智子氏 (ホテルショコラ函館 総支配人、有限会社 Faith Up 代表取締役)

**14:00~15:00 各グループによる発表会**

■ **受講料 無料** ■ **定員 30名**

■ **申し込み締切 平成29年12月8日(金)**

■ **申込方法** web 申込フォーム [goo.gl/9S4fEs](http://goo.gl/9S4fEs) にアクセスし、お申し込みください。

もしくは、メールの件名を「函館観光ビジネス講座申し込み」とし、以下の情報を記載のうえ、

2017-csj-g@shodai.ac.jp までメールでお申し込みください。

(1) 氏名 (2) フリガナ (3) 所属 (4) メールアドレス (5) 電話番号

※受講に関する案内は、事務局からメールでご連絡します。

ドメイン指定をされている方は「2017-csj-g@shodai.ac.jp」よりメールが届くよう設定をお願いします。

連絡がない場合は、お手数ですが、お問い合わせください。

※記載頂いた情報は開催運営以外の目的では利用致しません。

※講座は申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

## 文科省委託事業「地域インバウンド対応のための観光ビジネスフロンティア人材育成事業」について

本事業は、地域におけるインバウンド観光分野のフロンティアビジネス（新機軸の観光ビジネス）に関する知識と技能を有し、新たな観光価値を創造し、地域の発展に寄与する人材を育成すること、学修者の当該地における観光業への就労・起業、地域間ネットワーク構築を目指す事業で、eラーニングや地域での講座プログラムの開発と実施等を行っています。

<構成機関>

北海道教育大学函館校、札幌国際大学、札幌商工会議所附属専門学校、公益財団法人札幌国際プラザ、北洋銀行、一般社団法人倶知安観光協会、長崎国際大学、ホスピタリティツーリズム専門学校、日本政府観光局 (J N T O)、公益財団法人横浜観光コンベンションビューロー、川崎産業観光振興協議会、公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー、近畿日本ツーリスト (株)、(株)プリンスホテル、(株)JT B 総合研究所、全国高等学校観光教育研究協議会、日本コンベンションサービス(株)、横浜商科大学 (本事業代表校)

その他事業委員として、多数の公的機関、企業、教育機関の皆様にご協力いただいております。

## 函館講座の共催・運営、お問い合わせ先

共催： 北海道教育大学函館校、函館商工会議所、北洋銀行

協力： 北海道運輸局函館運輸支局、函館市、七飯町、函館ホテル旅館協同組合

運営： 本事業代表校・横浜商科大学

お問い合わせ先： 本事業代表校・横浜商科大学

〒230-8577 横浜市鶴見区東寺尾 4-11-1

TEL (045) 583-9057 FAX (045) 584-4870

E-mail [2017-csj-g@shodai.ac.jp](mailto:2017-csj-g@shodai.ac.jp) URL <http://www.shodai.ac.jp/>